

*** パンとぶどう酒と新しい契約**

イエス様はパンとぶどう酒を用いてこの後に起こる十字架について言われました。そしてイエス様が新しい契約を結ばれると言われました。新しい契約とは、イエス様の十字架の救いを信じるすべての人がイエス様の十字架によって全ての罪が赦され、救われるという契約です。

*** 晩餐の記憶**

しかし弟子たちはこの時、誰もこの聖餐式の意味を理解せず、彼らは自分のことしか考えていなかった。イエス様は弟子たちの裏切りも勘違いも知っておられ十字架にかかられました。それでもなお、ここで聖餐に与かっている者たちと天の御国と一緒に聖餐をしようという約束をされています。(29 節) 弟子たちペンテコステ以降、イエス様の十字架、新しい契約を宣べ伝えました。イエス様が教えてくれた聖餐を続けました。教会は聖餐式をイエス様が定められた大切な儀式として天の御国が完成するその日まで聖餐式を守り続けています。

*** ふさわしくないからこそ**

私たちはイエス様によって救われたことを信じ洗礼を受けました。でも私たちは弱さゆえに、イエス様の十字架の恵みを忘れてしまうことがあります。弟子たちのように裏切るようなこともします。今、自分を振り返った時、聖餐を受けていいか不安になります。しかしイエス様は私たちの弱さを知っておられ、罪赦すために十字架にかかり、また十字架の恵みを忘れやすい者たちだからこそ、私たちが十字架の恵みを覚え、救いに入れられていることを確かにするため聖餐式を備えてくださった。

*** 聖餐への招き**

聖餐は目に見える恵みのしるしです。目に見えない神様の恵みが聖餐を通して見えるようにしてくださっているからです。イエス様はイエス様を信じる私たちを聖餐に招いてくださっています。聖餐に招かれていることで、私たちは今もキリストの救いの中にあるということを知ることができます。聖餐式の中で裂かれるパンとぶどう酒を見る時に確かにイエス様が十字架で私のために死なれ、私の罪のために血を流されたことを覚えることができます。それらを食べる時、食べ物私たちにからだを養うように、確かに私たちの信仰が養われ、飲み込む時、飲み物が私たちを潤すように私たちの魂をうるおしてくれることを知ることができます。聖餐の一つ一つは神様の恵みが確かであることを教えてくれる。だからなんとなく聖餐を過ごすのではなく、この恵みを目で見ても噛みしめてほしいと思います。私たちは聖餐を受け度何に思い聖餐を受けているのでしょうか。救われた喜び、自分のふがいなさ、罪。それぞれに思いは違います。でも私たちは共に聖餐を受ける時ここにいる全員がイエス様の十字架の恵みを思い出し、悔い改め、感謝し、今も神の恵みの中に入れられていることを覚えたいと思います。そして十字架の救いをもう一度しっかりと心に刻みたいと願います。